

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/集中 : /Intensive

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10119905			
科目番号 /Course Number	10160266			
単位数/Credits	1			
授業形態 /Course Type	講義・演習：Lecture/Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	感性の実践哲学（リベラルアーツ・ゼミナール）：Practical Philosophy of Sensitivity（ Liberal Arts Seminar）			
担当教員名 / Instructor(s)	/（桑子 敏雄）：KUWAKO Toshio			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	国交省、農林水産省、環境省などの業務に従事した経験から社会貢献のための組織、一般社団法人コンセンサス・コーディネーターズを設立し、現在も国交省、宮崎県、島根県隠岐の島町などの公共事業にアドバイザー、コーディネータとして活動している。	
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1210			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	この講義は、フィールドワークと組み合わせて実施する。 現場に身を置くフィールドワーク、資料・情報収集を一人で行うデスクワーク、チームで行うテーブルワーク、さらにコロナ禍でのリモートワーク（対面ができない場合）という学びの方法を複合することによって、京都という地域空間のもつ多様な価値を掘り下げ、また、授業の出席者全員で共有すること 環境からの刺激を受け止め、解釈し、さらに環境に創造的に作用する能力を「感性」と捉えることができるとすれば、京都という地域空間の構造と履歴には、この地に生きた人々の感性的経験が蓄積されていると考えることができます。本講義では、空間の構造・空間の履歴・人びとの関心・懸念を総合的に捉える「ふるさと見分け」の方法によって、京都の地域空間を実践的に捉え、その感性的価値を考えてみたいと思います。 日ごろ見馴れた風景のなかに自己の存在と自己の生が営まれる環境との関係を見出すための知的なトレーニングです。学生諸君には楽しみながら、新たな知の発見を経験していただきたいと思っています。 講義とフィールドワークを組み合わせて、二日間の集中講義を行います。第一日目は、グループをつくり、フィールドワークを行います。また、二日目の午前、第一日目のフィールドワークに基づいて「ふるさと見分け」のプレゼンテーションの作成を行い、午後は、全員の前で成果の発表会を行います。なお、やむをえずオンラインの授業になる場合には、適宜、手順、内容を

	変更します。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	-
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals（JABEE 関連科目のみ）	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	フィールドワークの準備	・参考文献（別途教員から指示）の事前学習 ・グループ結成 ・フィールドワーク、ワークショップ、プレゼンテーションについて講義
	英		
2	日	フィールドワーク（オンラインの場合は GoogleEarth3D を利用）	・現地を見学、質疑応答等
	英		
3	日	フィールドワークの総括	・フィールドワークで得た視点について講師から解説 ・プレゼンテーションのテーマを各自考察
	英		
4	日	グループワーク	・グループでのプレゼンテーションのテーマの話し合い ・プレゼンテーションに向けて更に文献、インターネット等で学習
	英		
5	日	グループワーク	・プレゼンテーション用のパワーポイントを作成 ・プレゼンテーションに向けての準備を行う
	英		
6	日	グループ・プレゼンテーション	・グループでプレゼンテーションを行う
	英		
7	日	総合討論・講評	・それぞれのグループ・プレゼンテーションについて意見、感想等交換する ・グループ・プレゼンテーションについて講師から講評を行う
	英		
8	日	個人レポートの作成	・フィールドワーク、グループ・プレゼンテーションを通じて学んだことを各自レポート作成
	英		
9	日		
	英		
10	日		
	英		
11	日		
	英		
12	日		
	英		
13	日		
	英		
14	日		
	英		
15	日		
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	特になし
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	京都の歴史について学んでおく 本講義に対しては、36 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	プリントを用意します。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	授業への参加態度およびレポート
英	

留意事項等 Point to consider	
日	2016 年度以前入学の学生は「リベラルアーツ・ゼミナール 7（感性の実践哲学）」と読替えられる。 集中講義日：8 月 21 日（木）と 8 月 22 日（金）です。
英	